

令和3年度 農業委員会事務局の「実行宣言」

| | | |
|--------------|----|------|
| 作成者 (評価者) | 局長 | 刀根 薫 |
|--------------|----|------|

1. 令和3年度 「実行宣言」

宣言① 農地利用の最適化を推し進めていきます。



2. 令和2年度「実行宣言」の評価

評価基準…S (100%以上)、A (90~99%)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)

宣言① 農地利用の最適化を推し進めていきます。

評価 B

【評価理由と今後の方針】

松阪市は令和5年度末の農地集積率の目標を70%に定め集約・集積を進めており、ほ場整備が進んでいる耕作条件の良い平野部の農地は担い手への集積が進んで現在、50.8%の集積率、前年比3.6%増となっているところですが、耕作条件が悪い中山間部の農地は担い手が少なく、また、農地中間管理機構においても引き受けてもらえない農地が多いため、集積が進まない現状があります。

農業者年金の新規加入者の確保については、昨年度は新規加入者1人で目標の2人には達しませんでした。

担い手の新規参入者数については、昨年度5人(社)の目標に対し1法人、3個人、合計4人(社)であり目標には達しませんでした。個人経営体からの法人化が5経営体あり、担い手としての安定的な経営が期待できる経営体が増加するのは良い傾向です。

耕作放棄地等のフォローアップについては、全委員が協働による農地パトロールや各委員による農地活用相談など随時改善指導等を行い活動指標は達成していますが、耕作者の高齢化等により耕作放棄地は増加しているのが現状です。

今後も農業委員、農地利用最適化推進委員が協働して、また、関係機関等と連携して農地利用の最適化を推進できるよう事務局としてしっかりとその活動を補佐、協働していきます。また、農業委員等活動の推進及び職員の事務合理化のために令和4年度以降を目標に全委員へのタブレット端末の配布が行われる見込みとなっていることから、本年度はタブレット端末の使い方等についての委員研修を行っていきます。その他、新型コロナウイルス感染症ははまだ収束が見えない状況であることから、会議等の開催や委員の参集等に際しては、引き続き注意喚起を行い、会場の設営においては密にならない、換気を行う等、配慮していきます。

【課長シート】

| | | | |
|--|------------------|----------------------------|----------------|
| 組織名 | 農業委員会事務局 | 作成者（評価者） | 局長 刀根 薫 |
| 関係する「実行宣言」 | 令和2年度 | 農地利用の最適化を推し進めていきます。 | |
| | 令和3年度 | 農地利用の最適化を推し進めていきます。 | |
| 関係する『総合計画』施策 | 3-① 農業の振興 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>農業委員会は、農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図り、農業の健全な発展に寄与することを目的に、市に設置された行政委員会です。市長が議会の同意を得て任命する農業委員19名と、農業委員会が委嘱する農地利用最適化推進委員36名により構成され、9名の事務局職員は委員の活動を補佐しています。</p> <p>農地売買・賃借などの権利移動や農地転用の許認可業務のほか、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地等の利用の最適化の推進を行っています。また、農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上を図ることを目的として設立された農業者年金の受託事務を行っています。</p> | | | |

| |
|---|
| 令和2年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地の発生防止・改善活動については、農業委員・農地利用最適化推進委員の協働による農地パトロールや各委員の農地活用相談等を実施しました。 |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者年金加入促進については、昨年度新規加入者は1人でした。目標の2人には達しませんでした。この制度は農業事業者にとって有益な制度であるので、各委員と協働し、また農協と連携を取りながら対象者にPRを行い新規加入者の確保に努めます。 ・担い手の新規就農・参入者の確保については、昨年度5人（社）の目標に対し1法人、3個人、合計4人（社）で目標には達しませんでした。個人経営体からの法人化が5経営体あり、担い手としての安定的な経営が期待できる経営体が増加している状況です。今後も農業委員・農地利用最適化推進委員における新規就農・参入者促進活動を推進していきます。 |
| 令和3年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・農業者年金の加入促進活動による新規加入者の確保を目指します。 ・農業の担い手の新規参入者の確保を目指します。 ・耕作放棄地等のフォローアップ（改善指導等）を推進します。 ・タブレット端末使い方研修を開催します。 |

【農業委員会事務局】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和2年度 | | | 令和3年度 | | | | | |
|-----|------------|------|----------|----------|---------------------------------------|----------------|------|--------|---|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 農業者年金事務事業費 | 3-① | 593 | 594 | 加入促進活動による新規加入者の確保 | | | 518 | 加入促進活動による新規加入者の確保 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2人 | 1人 | C | | 2人 | | |
| 2 | 農業委員会活動事業費 | 3-① | 24,389 | 23,427 | ①担い手の新規参入者数 ②耕作放棄地等のフォローアップ(改善指導等) | | | 23,502 | ①担い手の新規参入者数 ②耕作放棄地等のフォローアップ(改善指導等) ③全委員に対するタブレット端末使い方研修 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①5人(社) ②55件 | ①4人(社) ②55件 | A | | ①5人(社) ②55件 ③2回 | | |